



# 森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 9月園だより

平成29年9月1日  
園長 新井 智子

〒108-0071  
港区白金台  
3-7-1  
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>



## 安心のサイクル

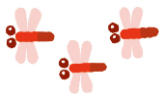
園長 新井 智子

いよいよ2学期が始まりました。夏休みいかがお過ごしでしたか。今年は、意外に曇り空と雨が続き梅雨を思わせる夏でした。水遊びよりも、山や野原を駆け回るにふさわしい気候だったように思います。

7月に「なかよしテラス」とお別れ会をしました。戸外の風に吹かれ暖かな日差しを浴びながら遊べるその場所は子どもたちの心の拠り所でもありました。そのお別れの余韻も束の間、保育室の増設工事が始まりました。なかよしテラスでの出来事はフェードアウトし、子どもたちの胸の中の思い出になっていきます。

夏休み期間、先生たちは多くの研修を受けました。園長対象の研修の中で、今年印象に残った言葉は、「安心のサイクル」というものです。これは、幼児の心の発達の望ましいあり方を言ったものです。その根底には、養育者(保護者)との愛着行動があります。子どもが、養育者との近接を求め、接触を維持しようとする行動をとったとき、十分に受け止め安心感をもたせます。このことで、子どもの恐怖、興奮、緊張は和らぎ、安心、沈静、弛緩を得られます。また、元気が充填され危機回避モードから満足追及モードになります。そして、養育者が安心・安全の基地として内在化され、離れて自分の意思でいろいろな探索行動ができるようになります。何かあった時に頼れる「安全基地」なのです。安心のサイクルは、ピンチの時に「安全基地」に近づき、落ち着きを取り戻し、元気が回復し、冒険、挑戦にでかける、このことを言っています。このサイクルの機能が、成長や課題克服の基盤になります。たとえ、叱責を受けても、大切に思っているからこそと、受け止めます。しかし、養育者との愛着関係が築けていない、叱責や暴力、放任などに遭っている場合、子どもにとって養育者は、困ったときにさらに怒りをかう敵対的存在であり、反発心を抱くといいます。また、叱られて反省する力も育ちません。このことは、養育者を教育者と置き換えても同じことが言えます。心の安心のサイクルがきちんと機能するよう、温かく子どもに向き合える大人でいたいものです。

「なかよしテラス」はなくなっても、子どもたちの拠り所や安全基地がある、2学期もそんな幼稚園を目指し、取り組んでいきます。



とうもろこし



なかよしテラス

### <今月の指導のねらい>

#### 3歳児

- 園生活のリズムを取り戻し、教師や友達とのびのびと体を動かす心地よさを味わう。
- 身近な自然に興味をもち、自分のしたい遊びに取り入れて楽しむ。

#### 4歳児

- 遊びや学級のみんなでする活動に自分から取り組み、友達と一緒に活動する楽しさを味わう。
- 遊びの中でいろいろな動きをしたり、思い切り体を動かしたりすることを楽しむ。
- 秋の草花や木の実、虫などを見付けたり、触れたりして遊ぶことを楽しむ。

#### 5歳児

- 友達と考えを出し合ったり力を合わせたりしながら遊びや活動に取り組み、楽しさや充実感を味わう。
- 様々な動きに挑戦したりルールのある遊びをしたりする中で、自分の力を発揮しながら友達との関わりを楽しむ。
- 初秋の自然に気付き、草花や虫などに興味をもって関わったり、遊びに取り入れたりする。



